

ARON AC-1000

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2019/08/08 改訂日: 2025/08/27 バージョン: 9.0

1. 製品及び会社情報

化学品の名称 : ARON AC-1000

会社情報

製造業者

東亜合成株式会社

105-8419

東京都港区西新橋 1-14-1

T 03-3597-7393 - F 03-3597-7353

供給者

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 0240-28-0111 (広野工場)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：蒸気)	分類できない

環境に対する有害性	急性毒性 (吸入：粉じん)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性(授乳に対する又は授乳を介した影響)	追加区分
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない
ラベル要素		
絵表示	なし	
注意喚起語	： 該当する注意喚起語はない	
危険有害性情報	： 授乳中の子に害を及ぼすおそれ (H362)	
注意書き (GHS JP)		
安全対策	： 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) ミスト／蒸気を吸入しないこと。(P260) 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。(P263) 取扱い後は手をよく洗うこと。(P264) この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。(P270)	
応急措置	： ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313) 皮膚に付着した場合、汚染された衣類を脱ぎ/取り除き、多量の水と石鹸で洗うこと。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。	
保管	： 該当する JIS 規定の文言はない。 密閉して保管すること。	
廃棄	： 該当する JIS 規定の文言はない。 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。	
重要な徴候及び想定される非常事態の概要	： 情報なし。	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
一般名 : アクリル系共重合物の水分散液

化学物質等の名称	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
水	56 – 58	H ₂ O	対象外	対象外	7732-18-5
アクリル系共重合物	38 – 42	企業秘	収載	公表	企業秘
添加剤	2 – 5	企業秘	収載	公表	企業秘

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
衣類が皮膚に密着している場合には無理にはがしてはならない。
多量の水で洗うこと。
皮膚に刺激がある場合は、医者の手当てを受ける。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
苦痛が生じたり、症状が持続する場合は、眼科医を受診すること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

応急措置をする者の保護 : 保護手袋、保護眼鏡、保護面、防塵マスクを着用すること。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に合わせて処置すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 大量の水、粉末消火剤、二酸化炭素(CO₂)

使ってはならない消火剤 : 情報なし

特有の危険有害性 : 製品自体に燃焼性はない。

消火を行う者の保護 : 耐薬品性着衣を着用する。適切な呼吸用保護具を用いる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
漏出物は回収すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

二次災害の防止策 : 情報なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気・全体換気等） : 第 8 項『設備対策』を参照。
安全取扱注意事項 : 眼、皮膚、衣類につけないこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
接触回避 : 第 10 項を参照。
衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
皮膚、眼、衣服との接触を避ける。
取扱い後は手をよく洗うこと。
局所排気・全体換気 : 第 8 項『設備対策』を参照。

保管

安全な保管条件 : 容器は、密閉した状態を保ち、冷所で保管すること。
安全な容器包装材料 : ステンレス、ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン。
技術的対策 : 冬季は凍結させないように、0°C以上の屋内に保管すること。
品質保証期間を越えて長期保管しないこと。
保管温度 : 5 - 40 °C

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 十分な洗浄設備を備えること。

保護具

呼吸用保護具 : 特になし
手の保護具 : PE(ポリエチレン)、ゴム手袋

眼の保護具	: 保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 液体飛沫から眼、顔および肌を保護する、実験用白衣

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
物理的状态、形状	: 液体
色	: 乳白色
臭い	: 僅かなエステル臭
pH	: 7.0 – 9.0
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: 100 °C (水)
引火点	: (不燃性の水分の多い製品)
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水: 分散性
n -オクタノール/水の分配係数 (log Kow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
粘性率	: 5 – 500 mPa・s (25°C)
粒子特性	: 粒子サイズ: 該当しない 粒径分布: 該当しない 粒子形状: 該当しない 粒子アスペクト比: 該当しない 粒子比表面積: 該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし。
避けるべき条件	: 情報なし。
混触危険物質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: 火災時、有害な分解生成物が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

予想される急性症状及び遅発性症状	： 皮膚に付着した場合: 皮膚乾燥、紅疹(発赤)、かゆみ、発疹を引き起こすおそれがある。 眼に入った場合： 紅疹(発赤)、痛みを引き起こすおそれがある。 飲み込んだ場合: 灼熱感、腹痛、咳、咽頭痛、めまい、し眠、頭痛、吐き気を引き起こすおそれがある。
有害性その他	： 光感作性：陰性 光毒性：陰性
急性毒性 (経口)	： 分類できない
急性毒性 (経皮)	： 分類できない
急性毒性 (吸入)	： 分類できない (蒸気) 分類できない (ミスト)
急性毒性 (吸入：気体)	： GHS 定義で液体であるので、分類対象外。
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	： GHS 定義で液体であるので、分類対象外。
皮膚腐食性／刺激性	： 区分に該当しない 24 時間閉塞ヒト皮膚パッチテストの結果、香粧品の皮膚刺激指数 0.0 で安全品と判定されたことから、区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： 区分に該当しない SkinEthic TM HCE 法による眼刺激性試験代替法の結果、MTT(3-(4,5-Dimethyl-2-thiazolyl)-2,5-diphenyl-2H-tetrazolium bromide) viability >60%で無刺激性と判定されたことから、区分に該当しないとした。
呼吸器感作性	： 分類できない
皮膚感作性	： 区分に該当しない RIPT (Repeat Insult Patch Test) の結果、インダクションフェーズにおける皮膚累積刺激性及びチャレンジフェーズにおける感作性を認められなかったため、区分に該当しないとした。
生殖細胞変異原性	： 分類できない in vitro 変異原性試験の結果は陰性であったが、in vivo 試験のデータがないため、分類できないとした。
発がん性	： 分類できない
生殖毒性	： 授乳中の子に害を及ぼすおそれ 授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分の成分が $\geq 0.3\%$ ；追加区分。 分類には寄与しないが、生殖毒性区分 2 の成分を 0.1%以上 3.0%未満含む。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	： 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	： 分類できない
誤えん有害性	： 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性） : 分類できない
水生環境有害性 長期（慢性） : 分類できない

残留性・分解性

ARON AC-1000

残留性・分解性	データなし
---------	-------

生体蓄積性

ARON AC-1000

生体蓄積性	データなし
-------	-------

土壌中の移動性

ARON AC-1000

土壌中の移動性	データなし
---------	-------

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない
モントリオール議定書の附属書に列記された成分を含まない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 内容物／容器を『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』に従って廃棄すること。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
洗浄後、リサイクルするか、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDG / IMDG / IATA / ADN / RID / ADR に準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
国連番号		
非該当	非該当	非該当
国連正式品名		
非該当	非該当	非該当
輸送危険物分類		
非該当	非該当	非該当
容器等級		
非該当	非該当	非該当
環境有害性		
非該当	非該当	非該当

海洋汚染物質

: 非該当

特別な輸送上の注意

: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと、
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。

国内規制

海上規制情報

: 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

: 航空法の規定に従う。

指針番号

: 該当なし

その他の情報

: 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法

: 一般化学物質（監視化学物質・特定化学物質・優先評価化学物質を1%以上含有しない）

労働安全衛生法

: 通知対象物質・変異原性が認められた化学物質を基準濃度以上含有しない

毒物及び劇物取締法

: 特定毒物・毒物・劇物に該当しない

水質汚濁防止法

: 有害物質及び指定物質を含有しない(第2条2項、4項)

オゾン層保護法

: 施行令別表の物質を含有しない

消防法

: 非危険物

悪臭防止法

: 特定悪臭物質に該当しない

大気汚染防止法	: 排出規制物質・特定物質・汚染物質・揮発性有機化合物に該当しない
海洋汚染防止法	: 有害物に関する国際海事機関海洋環境保護委員会の判定を受けていない。(第3条、施行令別表第一の一、二)
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第1の16の項(キャッチオール規制)
船舶安全法	: 非危険物
航空法	: 非危険物
港則法	: 非危険物
火薬類取締法	: 火薬類に該当しない
高圧ガス保安法	: 高圧ガスに該当しない
下水道法	: 施行令第9条の四の物質に該当しない
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 第1種指定化学物質及び第2種指定化学物質を1%以上含有しない(第2条、施行令別表第1、別表第2)
労働基準法	: 疾病化学物質及びがん原性物質に該当しない(第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号および第7号)
土壌汚染対策法	: 特定有害物質を含有しない

16. その他の情報

参考文献	: 参考文献:
	1) 東亜合成社内測定データ
	2) 原材料メーカーSDSデータ
	3) N I T E 公開データ。
	4) 外部試験機関分析データ。

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。